

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	東京都荒川区	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	荒川区文化遺産を活用した地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>荒川区では、平成19年度に荒川区基本構想を策定し、区の目指すべき将来像を「幸福実感都市 あらかわ」とし、物質的な豊かさや経済効率だけでなく、心の豊かさや人とのつながりを大切に、区民一人一人が真に幸福を実感できるまちを目指している。構想には6つの都市像が込められており、その1つに文化創造都市【伝統と新しさが調和した文化の創出】がある。この中で「伝統文化の継承と新しい文化の創造とが調和している多彩なまちを目指す。また、あらかわのまちに息づく連帯感や助け合いの心、下町らしい人情味あふれるコミュニティを最大限に生かして、地域の連携と協働が活発に行われるまちを目指す」としている。そのひとつが「文化創造都市【伝統と新しさが調和した文化の創出】」であり、伝統文化の継承と新しい文化の創造とが調和している多彩なまちを目指し、あらかわのまちに息づく連帯感や助け合いの心、下町らしい人情味あふれるコミュニティを最大限に生かして、地域の連携と協働が活発に行われるまちを目指すものである。これに加え、平成21年度には荒川区芸術文化振興プランを定め、「芸術文化をすべての区民に、未来に向けて荒川区の文化力を高める」ための具体的な計画を推進・実行している。上記の計画等を踏まえ、地域の文化遺産の次世代への継承・発展や、コミュニティの紐帯でもある文化遺産を活用して地域活性化を推進するために本事業計画する。「荒川区文化財保護条例」に基づき、平成16年度に区指定有形民俗文化財となり、平成25年度、その組立技術が、荒川区登録無形民俗文化財に登録された三河島山車人形（熊坂長範・稲田姫）は、素盞雄神社の祭礼の時、旧三河島村で曳き廻した山車人形3体（熊坂長範・素盞鳴命・稲田姫。素盞鳴命は不明）の内2体で、幕末から明治初期、古川長延作。他の自治体の山車人形に比べ頭の唇の色、指先の爪に到るまで、人形全体がほぼ制作当初の状態を保っている。衣裳・幕などの付属物を含め人形の完成度も高く、幕末の山車人形の制作事情・構造を考える上で、極めて貴重な資料であるが、近年、経年劣化が著しく、平成24年度荒川区文化財保護審議会から修理保存の実施に関する答申を受けた。本事業は、三河島山車人形（熊坂長範・稲田姫）の文化遺産の保存・活用に関する事業計画を策定するものである。当初、「文化遺産を活かした地域活性化事業」により平成25年度から30年度までの5年計画で、用具の修理等の実施を平成29・30年度に実施する計画であったが、「文化遺産総合活用推進事業」に名称・内容変更があったため、平成29年度に修理計画及び財源の見直しを図り（民間団体、他省庁、都区等の補助申請を検討）、修理等を実施する期間を平成30年～33年度に変更する。</p> <p>平成25年度 三河島山車人形の保存と伝承に係る普及啓発                  平成26年度 三河島山車人形の保存と伝承に係る普及啓発及び保存計画予備調査事業                  平成27年度 三河島山車人形の保存と伝承に係る普及啓発及び保存計画本調査事業（1次）                  平成28年度 三河島山車人形の保存と伝承に係る普及啓発及び保存計画本調査事業（2次）                  平成29年度 三河島山車人形の保存と伝承に係る普及啓発及び保存修理事業（1次）</p>			
<p>本事業については、荒川区が全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。                  担当課及び役割                  地域文化スポーツ部生涯学習課：文化財の取り扱い、保存継承に関する普及活動の指導等                  構成団体（三河島山車人形・稲田姫保存会、荒川中央町会&lt;三河島山車人形・熊坂長範保存団体&gt;）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果	別紙①のとおり		
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 503 千円	平成29年度申請額： 221 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②の通り	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>本計画に基づく事業の実施により、区民の伝統文化に対する関心や意識が向上し、地域の文化遺産の保存に対する関心と次世代への確実な継承の必要性の認識が深まるとともに、コミュニティの紐帯として観光資源として地域の活性化が期待できる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
計画策定については検討中			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	荒川区地域文化スポーツ部生涯学習課荒川ふるさと文化館		

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	文化資源を紹介したサイトへのアクセス数			関連事業 :	①	
目標値 1 :	平成 28 年度 100 (%) ⇒ 平成 33 年度 150 (%)					
設定根拠 1 :	平成28年度を10,000件、33年度の目標値15,000件に設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	天王祭への参加者数			関連事業 :	②	
目標値 2 :	平成 28 年度 100 (%) ⇒ 平成 33 年度 150 (%)					
設定根拠 2 :	平成28年度を10,000件、33年度の目標値15,000件に設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
目標区分 3 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 3 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	三河島山車人形の展示場所への見学者数			関連事業 :	③	
目標値 3 :	平成 28 年度 100 (%) ⇒ 平成 33 年度 150 (%)					
設定根拠 3 :	平成28年度を10,000件、33年度の目標値15,000件に設定					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
目標区分 4 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 4 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	文化資源の現状を紹介したサイトへのアクセス数			関連事業 :	④	
目標値 4 :	平成 28 年度 100 (%) ⇒ 平成 33 年度 150 (%)					
設定根拠 4 :	修理対象の文化財リストをもとに文化財保護審議会の確認し主だったものをウェブで公開					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	



事業④：	三河島山車人形用具修理等事業（29年度自主事業）	実施団体：	荒川区文化遺産地域活性化事業運営委員会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	当初、「文化遺産を活かした地域活性化事業」により平成29・30年度に実施予定だったが、「文化遺産総合活用推進事業」に変更となったため、平成29年度に財源の再検討を行い、平成30年度から修理を実施するため有識者の指導により文化遺産に相応しい修理等の実施計画を策定する。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	三河島山車人形の展示場所への見学者数					
目標値：	平成 28 年度		100 (%)	⇒	平成 33 年度 150 (%)	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	